



福住小中学校 学校通信



福住小中学校
令和4年7月20日
文責 神元 聡

世界に目を向ける 自立する 共に生きる

【 学校教育目標 】 一人ひとりが 元気で いきいきと輝く子ども

一学期が終了しました！ ～明日から夏休みです～

今年は、観測史上初の6月中に梅雨が明けました。そうかと思えば、東京では、6月中に36.4℃を記録し、9日連続の猛暑日が続きました。どちらも、観測史上初の出来事です。熱中症を予防するために努めていると、今度は、台風が発生。しかし、すぐに温帯低気圧になり消滅。このところの異常気象はとどまるところを知りません。また、BA.5の置き換わりによる急激なコロナ感染拡大により、動き始めていた社会活動が再び制限される懸念も生じています。



そんな中、本日、福住小中学校終業式が挙行され1学期が終了しました。明日から夏休みです。これからの40日間、授業が進むことはありませんので、子どもたちがそれぞれ自分で目標を設定し、進めていくこととなります。子どもたちが、目標に向かって走り続け、新しい景色を見つめることができるよう、温かく見守ってあげてほしいと思います。9月1日、福住っこが、全員元気に登校してくれることを楽しみにしています。

循環型社会「福住」の未来を考える！

昨年からはまった「福住村教育連携プロジェクト」。現在、中学部は「福住村エネルギープロジェクト」と、小学部は「福住村農業プロジェクト」と連携して学習を行っています。7月1日（金）、中学部は、浄土の吉田教育委員さんと「里山の大切さ」についていろんな方面から考える機会をもちました。その後、里山の現状を把握するため実際に福住の里山にフィールドワークに行き、持続可能な循環型の里山実現に向けて意見を交わしました。一方、小学部では、総合政策課の浦久保さんを迎え、これから福住校区で進められる農業プロジェクトについてレクチャーを受けた後、自分たちの畑に、青大豆の苗をみんなて植えました。収穫した大豆は、今後、地域の方と一緒に行う味噌づくりで使用する予定です。



7月市開催

7月18日（海の日）、福住氷まつりと同時開催で、7月市が開催されました。中学部から



は、エネルギープロジェクトと連携した循環型の里山実現に向けての紙面発表と、福住の活性化のために、プールを再利用してマスの釣り堀にするマスプロの二つの発表がありました。小学部は、農業プロジェクトと連携した青大豆の観察と田起こしから体験した田植え学習の紙面発表がありました。中でも、grafさんのバイオ炭の生成装置は、ひときわ来客者の目を引く素晴らしい装置で、人だかりができていました。



音楽部

7月9日（土）、本校の音楽部が、天理駅前のコフンで行われた野外音楽FES「CoFuFun FES.」に参加しました。観客との息の合ったトークとリズムカルな演奏は、観客のハートを釘付けにしました！



